



# 霧が丘

令和4年10月21日  
横浜市立義務教育学校  
霧が丘学園  
校長 関口 和弘

## 後輩たちへ引き継がれる霧が丘学園

中学部副校長 濱部 剛

中学部では9月27日(火)に令和4年度、生徒会本部役員選挙・立会演説会が行われ、第43期生徒会本部役員が決まりました。会長候補を始め7名の立候補者が応援者の協力を得ながら、素晴らしい選挙演説を行いました。「生徒が笑顔で過ごせる居心地の良い霧が丘学園にしたい。」「学園の人たちがもっと仲良くなれる企画を新しく作りたい。」



「コロナウイルスがはやっている現在においても、自分たちができることを考えて取り組んでいきます。」「義務教育学校であるからこそ、1年生から9年生の他学年のかかわりをより大切にしていきたい。」「挨拶が飛び交う元気な学園にしたい。」「皆が楽しく安心して過ごせる学校、学年の壁を越えて交流できる環境を目指したい。」「生徒会に親しみをもってもらい、全校で協力できる活動を考えてい。」等と立候補したみなさんの力強い演説を受け、7名の本部役員が選出されました。7名の候補者は、これまで行ってきた生徒会活動を継承しつつ、さらに新たな取組を提案していました。自分たちの力で霧が丘学園をより良くしていこうという意気込みが感じられ、頼もしく思いました。10月11日(火)には、第42期本部役員の解任式と第43期本部役員の認証式が行われ、先輩から後輩へ霧が丘学園のバトンが引き継がれました。これでいよいよ中学部の中心は8年生となります。まだまだコロナ禍は続きますが、「霧が丘学園らしさ」をますます発揮してくれることだと思います。また、今年度も6年生が選挙活動を見学したり、立ち合い演説会にも参加したり、実際に仮投票を行ってみるなど、来年度から始まる中学部生活を見据えた取組が行われました。「きりたまタイム」(小中のふれあい活動)を始め、小学部・中学部と一緒に活動する場面を見るたびに「霧が丘学園らしさ」を感じ、義務教育学校の意義を感じることが出来ます。小中一貫校となってから13年目、義務教育学校となってから7年目を迎えています。これからも一層「9年間継ぎ目のない教育」を進めていきたいと思ひます。

なお、今年度も緑区選挙管理委員会のご協力を得て、実際の選挙で使用されている投票箱や記載台をお借りし、リアルな投票を実施することができました。ありがとうございました。

小学部では10月22日(土)に「きりっ子運動会」、中学部では10月27日(木)・28日(金)に「学習発表会(あすなろ)」が開催されます。霧が丘学園の児童・生徒であるという誇りのもと、クラス・学年・学校全体が協力し、1つのものを創り上げる喜びを感じながら、「霧が丘学園らしさ」を発揮して欲しいと思ひます。

\*\*\*\*\*

【学校の様子をホームページにてお知らせしています】  
各学年の活動や、学校からのお知らせを掲載しております。ぜひ、ご覧ください。  
<霧が丘学園ホームページ>  
URL <https://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es-jhs/kirigaoka/>



QRコード